

令和7年度 学校関係者報告書

岩村田高等学校

1 評価者 学校関係者（学校評議員4名）

2 方法 第2回学校評議員会[2/13(金)]及びその後の郵送で「学校自己評価」を配布し、学校概要を説明した。「評価報告書」(A:十分満たしている B:満たしている C:満たしていない)の3段階評価、感想・助言欄あり)配布し、後日その回答を郵送で受領した。

3 評価結果

	1	2	3	4	総合
学習指導	A	B	A	A	A
進路指導	B	B	A	A	A
生活指導	B	B	C	A	B
特別活動	A	B	A	A	A
開かれた学校	B	B	A	A	A
職員研修	B	B	A	A	A

4 主な助言

(1)学習指導

- ・タブレット端末使用など、時代に即した指導がなされていると思います。
- ・探究的な学びには「他者（社会）とつながる」事の重要性も入っています。
- ・教室以外で自己学習が進んで出来る学習室の他、廊下の空間を利用して学習できるように整備している。

(2)進路指導

- ・外部講師を招いての進路講話は入試直前の3年生には刺激になる。
- ・進路通信他、細かな対応ありがとうございます。指導方法も多岐にわたり先生方の研究・導入も難しいと思います。生徒が更に奮起する為の仕掛けやきっかけづくりをお願いします。

(3)生徒指導

- ・現金盗難が多発したのは、非常に残念である。子どもたち同士疑心暗鬼に陥ることのないよう、環境も整えて頂けたらと思います。

(4)特別活動

- ・高校生も社会の一員として奉仕活動も増やし、地域との交流も楽しんでもらいたい。
- ・探究活動などを通じて、まずは地域を知り、自主性や自発性を身につけ社会に羽ばたいていけるよう今後とも指導をお願いします。

(5)開かれた学校

- ・HPがもう少し見やすくなると更に良いかと思います。
- ・岩高祭の盛況は嬉しい限りです。引き続き、工夫を凝らし岩高の魅力を発信して頂きたい。
- ・岩村田の名を冠した学校として、岩村田商店街はもちろん岩村田小学校、岩村田保育園、岩村田教会（小雀保育園）等、岩村田の名の付く団体の主となって岩村田を盛り上げて欲しい。

(6)職員研修

- ・先生方の研修先、内容を具体的に明示して頂ければと思います。
- ・教員不足の中、本当に大変だと思われていますが、無理をなさらずに、今後も子供達のために、よろしくお願いいたします。

40 岩村田

回答数
22

令和8年度 長野県岩村田高等学校の教育方針と目標に対する評価

40 岩村田

教育方針			
1	心身の調和のとれた健全な人間の育成		
2	協調性に富み、道理をわきまえ、円満な団体生活を営み得る人間の育成		
3	現代文化に貢献し得る基礎的学力を具備した人間の育成		
4	質実剛健にして勤労を愛好する人間の育成		
5	自主的・意欲的で創造性の豊かな人間の育成		
中期的長期的目標		今年度重点目標	
1	修量（岩高のこころ）を大切にし、変化の激しい社会を生き抜く力を育成する。	1	探究的な学習活動における協働的な学びを通して、生徒が地域社会を含む多様な他者との関わりを意識し、対話を重ねながら課題を解決していく力を身に付けることを目指す。
2	本校に寄せる地域の思いを積極的に受け止め、開かれた学校づくりを進める。	2	生徒が自ら思考し主体的に学び続ける姿勢を育むとともに、社会の変化に柔軟に対応する力を涵養し、進路実現へとつなげる。
3	新学習指導要領の導入により、より充実、工夫されたカリキュラム編成を研究し、実施する。	3	教職員一人ひとりが人権感覚を高め、いじめや体罰のない安心・安全な学校づくりに組織として取り組むとともに、生徒や保護者の思いを共感的に受け止め、共に成長する姿勢で日々の教育活動に臨む。
		4	岩高の良さを追求し、本校の特色化を推進するとともに、その魅力を積極的に発信する。
領域	分野	今年度重点目標	
教育活動	教育課程・学習指導・進路指導・特別活動	教育課程委員 令和5年度入学生より運用している教育課程の課題を整理し、本校の実態に応じた改善を図ることを目標とする。特に来年度以降の総単位数の変化に伴う、カリキュラム編成を探究し、適切な運用につなげる。 探究係 1、2年対象の「探究の時間」では、テキスト・ワークシートを用いた学習、個人・グループでの探究活動を行い、ゼミでの指導を経て年度末には成果発表会を行う。学級を越えた活動を通じ、論理的・分析的思考とコミュニケーション能力を養う。NIE指定校としての活動も取り入れ、情報を活かし社会に目を向けて主体的に考え行動する力を育む。また単なる調べ学習で終わらせないよう、地域のさまざまな機関と連携をしながら探究活動の深化を促す。 進路係 「生徒たちに確かな学力を身につかせ、あらゆる機会を捉えて大学進学を中心とする各自の進路希望の実現に向け尽力する」 教務係 安定したICT環境と学習ツールを整備し、生徒が情報活用能力を発揮しながら、主体的・対話的で深い学びを実現できるよう支援する。 生徒会係 自らの考えを仲間と共有しながら生徒会に関わる諸活動を主体的に実践し、課題解決能力を養うことができるように指導する。今後も地域とのつながりを大切に新たな活動を模索していく。 1 学年 生徒自らが社会の一員としての自己を主体的に捉え、対話や探究活動を通して他者とののかかりの中での様々な課題を自ら解決していく力を身に付けさせる。 2 学年 学校の中心としてあらゆる場面の活動に対して主体的に取り組む。また、様々な経験を通して、視野を広げ個々の学びを深めることで、自ら学び、向上しようとする姿勢を身につけていけるよう指導する。 3 学年 これまで行ってきた自己分析と社会理解をより具体的な将来にむすびつけ、今取り組むべきことを考えさせ、着実に実行できるよう指導する。多くの情報を効率よく取得し有効に利用していく。こまめな面談により進路希望の明確化とその実現につなげて行く。	
	生徒指導・保護者連携	生徒指導係 生徒相談係や各担任等と連携を取りながら、いじめ等の早期発見に努める。情報モラル等の適切な指導については講演会を行ったり通信を発行したりして啓発に努める。 生徒相談委員会 毎週の相談委員会、相談室の運営、学校生活アンケート実施等を通して、生徒一人ひとりの悩みや状況を早期に把握して、多様な相談への対応に努める。また、カウンセリングや専門機関へ繋げ、生徒の状況に応じた支援・配慮の方法を検討する。 P T A P T Aの連携を深め、より多くの保護者の方が参加交流しやすいP T Aを目指す。P T A行事等への積極的な参加を呼びかけ、諸々の活動を通し学校の教育活動や生徒の成長に寄与する取り組みにつなげる。 1 学年 日頃の生徒の様子や変化をとらえて対応し、保護者と連絡を密にとりながら、生徒や保護者が安心して生活できる学校を目指していく。また、三者面談などで生徒が思い描いている将来像や学校生活の悩みなどに対応していく。 2 学年 クラス替えを通し、様々な人との繋がりの大切さを学ぶ。また、保護者向け講演会や懇談会などの機会を通して生徒一人一人の社会的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育てるための必要な連携をしていく。 3 学年 生徒との面談、又は保護者向けの講演会、学年通信など、更には7月と12月の保護者懇談の場を中心に、生徒や保護者と意思疎通を図り、生徒の希望進路の実現に向けお互いに協力していく。	
学校運営	地域連携	（今年度4） 岩高の良さを追求し、本校の特色化を推進するとともに、その魅力を積極的に発信する。 教務係 ホームページのリニューアルを通して、学校の教育活動や生徒の姿をわかりやすく発信し、学校の魅力をより正確に伝える。また、情報発信の質と頻度を高め、地域、保護者との双方向の連携を深める。	